

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 21 年 4 月 30 日 (2009.4.30)

【公開番号】特開 2008-182740 (P2008-182740A)  
 【公開日】平成 20 年 8 月 7 日 (2008.8.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2008-031  
 【出願番号】特願 2008-60955 (P2008-60955)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/32 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 17 日 (2009.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レファランスピクチャの同一位置のブロックを用いた、現在のピクチャの双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルの導出方法であって、

前記レファランスピクチャの前記同一位置のブロック決定し、

前記同一位置のブロックが list 1 動きベクトルのみを有しているときは、前記双予測ブロックの前記ダイレクトモード動きベクトルを求めるための動きベクトルとして、前記同一位置のブロックの前記 list 1 動きベクトルを選択し、

選択された前記 list 1 動きベクトルにビット演算を行なうことにより、前記双予測ブロックの前記ダイレクトモード動きベクトルの少なくとも 1 つを導出する、ことを特徴とするダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【請求項 2】

前記ビット演算により、前記双予測ブロックの前記ダイレクトモード動きベクトルは右方向に 8 ビットシフトされることを特徴とする、請求項 1 に記載のダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

本発明のダイレクトモード動きベクトルの導出方法は、レファランスピクチャの同一位置のブロックを用いた、現在のピクチャの双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルの導出方法であって、レファランスピクチャの同一位置のブロック決定し、同一位置のブロックが list 1 動きベクトルのみを有しているときは、双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルを求めるための動きベクトルとして、同一位置のブロックの list 1 動きベクトルを選択し、選択された list 1 動きベクトルにビット演算を行なうことにより、双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルの少なくとも 1 つを導出することを特徴とする。